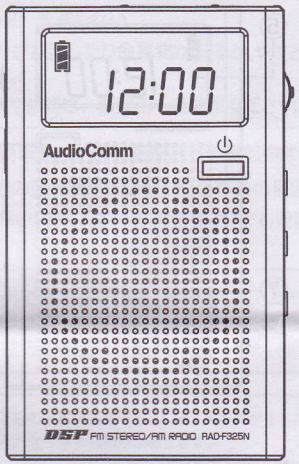
AudioComm®

FMステレオ/AM ポケットラジオ

RAD-F325N

商品番号:07-7944



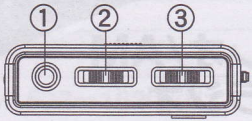
DSP Digital Signal Processing

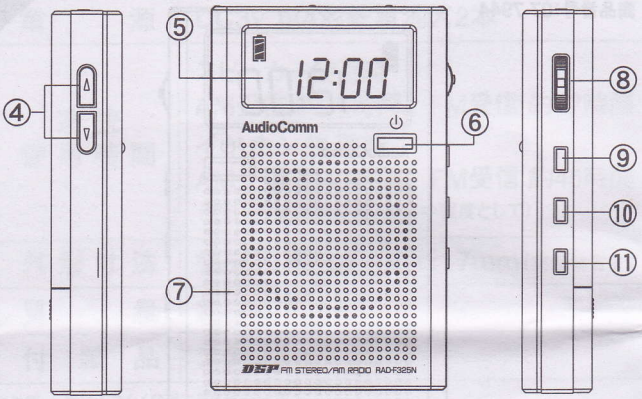
DSPで 混信・雑音が少ないクリアー音声!

取扱説明書

AudioComm
FMステレオ/AMポケットラジオを
お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、
ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
必ず保存してください。

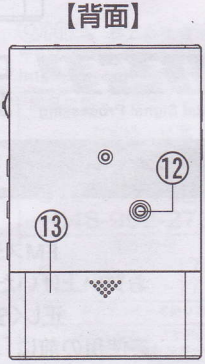
ラジオ各部の名称





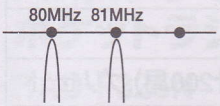
① イヤホン端子
② イヤホン・スピーカー切換スイッチ
③ BBS入/切スイッチ
④ 音量ボタン
⑤ 液晶表示部
⑥ 電源ボタン
⑦ スピーカー(モノラル)
⑧ 選局レバー
⑨ バンド切換/ATSボタン
⑩ 時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン
⑪ メモリー/削除ボタン
⑫ ホールドボタン
⑬ 電池ボックスカバー

【背面】



デジタル変換処理DSP（Digital Signal Processing）の特長

本製品はデジタル変換処理DSPを搭載しており、以下の優れた特長があります。



- ●近接する放送信号の分離能力が高く、混信しにくい（左イメージ図参照）。
- ●受信感度が非常によい。
- ●バックノイズ等の雑音が少ない。
- ●すっきりクリアーな音声。

ラジオの使い方

❶「電源ボタン」を長押しすると、液晶表示部に「On」と表示され電源が入ります。短押しするとスリープタイマーの設定モードで電源が入ります（スリープタイマー設定を参照）。

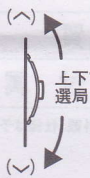
❷「音量ボタン」の（◗）で音量を最小にします（液晶にVOL.00表示）。

❸「イヤホン・スピーカー切換スイッチ」でイヤホン（🎧）またはスピーカー（🔊）の選択をします。イヤホンの場合は付属イヤホンのプラグを「イヤホン端子」に接続し、イヤホン部を両耳に装着してください。

❹「音量ボタン」の大（◗）小（◗）で音量を調節します。

❺「バンド切換/ATSボタン」短押しでAMかFMを選びます。

❻「選局レバー」を上下に動かしてお聴きになる放送局に合わせます。



❼電源を切る時は「電源ボタン」を短押しします。液晶表示部に「OFF」と表示され、電源が切れます。

※ご使用後、イヤホンをイヤホン端子から抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。コードを持って抜くことは断線のおそれがありますのでおやめください。

■ATS（オートチューニングストレージ機能）について

選局時やメモリーサーチ時（後述）に「バンド切換/ATSボタン」長押しするとATSが作動。電波の強い放送局を順に自動検知してメモリー登録されます。

※本機能を使用してメモリー登録すると、以前に登録されていたメモリーデータは上書き消去されますのでご注意ください。

■BBS（低音強調機能）について

BBS切換スイッチを入にすると低音が強調され、人の声などがより聴き取りやすくなります。

■液晶バックライト表示について

各ボタン等の操作ごとに液晶が約3秒程照明されます（電源がオフの状態でも機能します）。暗い場所などで便利です。

■ホールド機能について

「ホールドボタン」を押すと携帯時の誤作動を防止するためにすべての操作が固定維持されます(「液晶表示部」に⊓⊸○アイコンを表示)。
「ホールドボタン」を再度長押しすると解除されます。

受信について

■AM放送を聞くとき

本体を放送が一番良く受信できる方角に向けてください。

■FM放送を聞くとき

付属イヤホンが、FMアンテナを兼用しています。スピーカー使用時もイヤホンを接続してアンテナとしてご使用ください。

■電車や建物の中で聞くときは

電波が弱くなると、聞こえにくくなります。本体を窓に近づけてお使いください。
尚、トンネル、地下鉄、地下街等では、電波状態が悪く聞こえないことがあります。

■音声について

●FM受信はステレオ対応です(イヤホン使用時のみ)。「時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン」ボタン長押しでステレオ音声になります。ステレオ受信時には「液晶表示部」に((ψψ))アイコンが表示されます。
再度長押しすればモノラル受信になります(電波が弱い時はモノラル受信の方が聞き取りやすくなります)。
●AM受信はモノラルです、ステレオ音声にはなりません。
●本機はTV放送の音声は受信できません。

■本製品は受信周波数帯の切換機能を装備しております。

下記の3種類の受信周波数帯から希望の周波数帯の設定が出来ます。
【A】FM 76-90MHz　/ AM 522-1620kHz (9kHzステップ/日本仕様)
【B】FM 87-108MHz / AM 522-1620kHz (9kHzステップ/その他対応諸国)
【C】FM 88-108MHz / AM 520-1710kHz (10kHzステップ/北米仕様)
(初期状態では【A】に設定されております。)
海外でのご使用時など、必要に応じて設定の変更が可能です。(通常は変更の必要はありません。)設定の変更をする場合は、下記手順に従って変更してください。
❶電源が切れた状態から、「バンド切換/ATS」ボタンを長押しします。
❷液晶表示部に下記のいずれかが表示されますので、表示されている間に「バンド切換/ATS」ボタンを数回押して任意の周波数帯を選択してください。
「76.00」:【A】、「87.00」:【B】、「88.00」:【C】

メモリー機能の使い方

【メモリー登録の仕方】

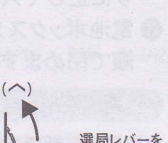
❶「ラジオの使い方」を参照して登録する放送局を選局します。

❷「メモリー/削除ボタン」を短押しで「液晶表示部」に、「MEM 00~99 」の番号が点滅します。

❸「選局レバー」を上下に動かして「00~99」から任意の番号を選び、点滅中に「メモリー/削除ボタン」を短押しで登録します。

※FM/AM各100局までメモリー登録が可能です。

【メモリーサーチの仕方】



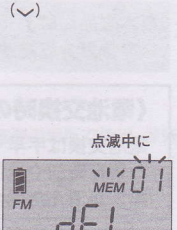
❶「ラジオの使い方❺」の段階まで進みます。

❷「選局レバー」を押すとメモリー選局になります（※再度押すと通常選局に戻ります）。

❸「選局レバー」を上下に動かしてメモリー登録した「00~99」の番号をサーチし、聴きたい登録番号の所で止めると選局されます。

※再度選局レバーを押すとメモリー選局が解除されます。

【メモリー削除の仕方】



❶「メモリーサーチの仕方」を参照してメモリー番号登録した局を呼び出します。

❷「メモリー/削除ボタン」を長押しすると「液晶表示部」に「dEL」の文字が表示されます。いったん指を離してメモリー番号点滅中に「メモリー/削除ボタン」を短押しで登録が削除されます。

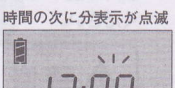
❸全登録を一括削除したい場合は、メモリー「削除の仕方❷」の段階で「メモリー/削除ボタン」を「液晶表示部」に「ALL」の文字が表示されるまで長押しします。

❹いったん指を離した後、「メモリー/削除ボタン」を短押しで全登録が削除されます。

時刻とアラーム設定について

【時刻設定の仕方】

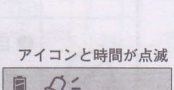
時間の次に分表示が点滅



電源・切の状態（時計表示）で「時刻・アラーム設定/ FMステレオ切換ボタン」を長押しで「液晶表示部」の「時間」表示が点滅。「選局レバー」上下で「時間」を設定します。次に「時刻・アラーム設定/ FMステレオ切換ボタン」を短押しで「分」表示が点滅。「選局レバー」上下で「分」を設定します。点滅から固定表示に変わるまで待てば完了です（約2～3秒）。

【アラームの設定と使用方法】

アイコンと時間が点滅



電源・切の状態で「時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン」を長押しします（「時間」表示点滅）。続けて同ボタンを2度短押しします。

「液晶表示部」に🔔アイコンと「時間」が点滅表示されますので、「時刻設定の仕方」と同様にアラーム時刻の「時間」「分」を設定し、「時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン」を押せばアラーム・入の状態となります（「液晶表示部」に🔔アイコンと現在時刻が表示）。

アラーム設定時刻になるとアラームが鳴ります。アラーム音を切るときは「電源ボタン」を短押しします。

■アラームの解除について

アラームは解除されるまでアラーム・入の状態で維持されています。

アラームを解除したいときは、電源の入・切に関係なく「時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン」を短押しして🔔アイコンとアラーム設定時刻が点滅後、固定表示になるまで待てば（約2～3秒）、アラームが解除されアラーム・切となります。

※以降、「時刻・アラーム設定/FMステレオ切換ボタン」の短押しごとにアラーム入・切を繰り返します。

【スリープタイマーの設定時脳】

電源・切の状態（時計表示）で「電源ボタン」を短押しで「液晶表示部」に「SLEEP」のアイコンと「On」の表示が点滅します。

点滅中に「選局レバー」上下で「01～120分」の10段階の中からスリープ時間を選び、「選局レバー」を押せば設定完了となります。

設定完了後、設定時間が経過すると自動的にラジオの電源が切れます。

※設定内容は記憶されたままになります。解除したいときは、本設定の手順で「On」を選んでください。

安全にお使いいただくために

製品を安全にご使用いただくため、この「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。また、取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

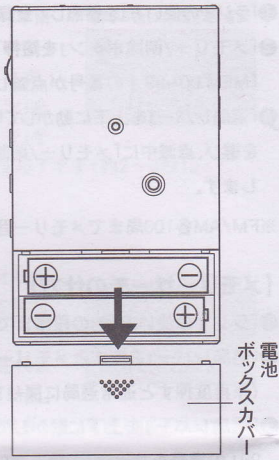
⚠警告	下記の注意事項を守らないと、火災や感電により人が死亡、または重傷を負う危険性があります。
分解禁止	● 分解・改造しない ・機器が故障したり金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。 ・点検や修理は、販売店へご依頼ください。
禁止	● 自動車やバイク、自転車などの運転中は使用しない ・周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。 ・歩行中(特に、踏切や横断歩道)でも周囲の交通に十分注意してください。
禁止	● 野外で使用していて、雷が鳴り出したら、すぐにイヤホンのプラグをイヤホン端子から抜いて使用を中止してください。落雷の原因となります。

⚠注意	下記の注意事項を守らないと、人がけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする危険性があります。
禁止	● 異常に温度が高くなるところに置かない。 ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。 ・夏の閉め切った自動車内や直射日光のあたるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
禁止	● 音量を上げすぎない。 ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
禁止	● イヤホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する。 ・そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

電池について

電池の入れ方

【背面】



❶ 本体背面の電池ボックスカバーの矢印部分を押しながら下にスライドさせます(右図参照)。

❷ 電池ボックスに単4形乾電池2本(別売)を入れます。
電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(−)の極性通りに正しく入れてください。

❸ 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めます。

長期間使用しないとき

本製品を長期間ご使用にならないときは、電池の液もれを防ぐために電池を取り出してください。

※本製品にはアルカリ乾電池のご使用をお薦めします。
マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

《電池交換時の注意》

電池交換は手早く行ってください。電池を外した状態が続くと設定した現在時刻や受信局メモリーが消えてしまいます。
設定が消えた場合は再度設定し直してください。

《電池残量表示》

本製品には電池残量を液晶表示する機能が付いております。
液晶表示部に常時表示される電池残量表示を目安に(下図参照)、電池残量が無くなりましたら、使用した単4形乾電池は2本とも新しい乾電池と交換してください。

電池残量
表示の段階

乾電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

●乾電池が液漏れしたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることもあるので、販売店、弊社修理ご相談センターにご連絡ください。液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐにきれいな水で充分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が体や衣服に付いたときも、すぐにきれいな水で洗い、皮膚にけがや炎症があるときは医師に相談してください。

⚠警告

- ●飲み込むおそれがあるので乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は直ちに医師に相談する。
- ●機器の表示に合わせてプラスとマイナスの極性を正しく入れる。
- ●充電しない。火の中に入れない。分解、加熱しない。
- ●金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- ●液漏れした電池は使わない。
- ●使い切った電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- ●新しい電池と使用した電池、種類の違う電池(アルカリ電池、マンガン電池など)を混ぜて使わない。

⚠注意

- ●火のそば・直射日光の当たる所・炎天下の車中などの高温の場所で使用・保管・放置しない。
- ●外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- ●指定された種類以外の電池は使用しない。

《ラジオ本体のお手入れの仕方》

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。
シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

主な仕様

受信周波数	FM　76－90MHz
	AM　522－1620 kHz
メモリー	FM/AM各100局（合計200局）プリセット
電源	DC3V 単4形乾電池×2本
連続使用時間	スピーカー使用時 AM受信 約16時間、FM受信 約17時間 イヤホン使用時 AM受信 約43時間、FM受信 約45時間 （アルカリ乾電池使用、音量中程度として）
外形寸法	幅56×高さ91×奥行17mm（突起物含まず）
質量	約60g（電池含まず）
付属品	ステレオイヤホン

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。
それでも調子が悪いときは、お買上店、またはオーム電機修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

●保証期間が過ぎた場合は、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償で修理させていただきますので、お買上店にご相談ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは

お客様相談室

●通話料無料
0120-963-006

●携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735

電話受付
平日　9：00～17：30
土曜　9：00～17：00

※日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は
修理ご相談センター

電話受付　**048-992-3970**
平日 9：00～17：00

※土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-7944A